

福岡県弁護士会行政問題委員会との勉強会・意見交換会を開催！

2026年8月31日（月）16時30分から、福岡県行政書士会館3階において、事業法務部による弁護士会との勉強会・意見交換会を開催しました。この取り組みは、2023年8月から福岡県弁護士会行政問題委員会との連携事業として、行政手続および行政問題に関することをテーマに、双方が持ち回りで担当し開催しています。会員の知識や実務対応力を向上させ、行政書士の使命である「その業務を通じて、行政に関する手続の円滑な実施に寄与するとともに国民の利便に資し、もつて国民の権利利益の実現に資する」ことを果たす力をより充実させることを目的に行われている取り組みです。

テーマは「ムスリムの土葬墓地受け入れ問題」

これまでこの会では「保険診療における指導・監査」「産業廃棄物処理業者と住民紛争」などのテーマを取り上げてきました。今回は行政書士会が担当となり、古城副会長が「ムスリムの土葬墓地受け入れ問題」をテーマに発表を行いました。発表では「墓地、埋葬等に関する法律」や自治体の条例に基づく許可申請手続など、行政書士の業務分野に加え、文化的な観点からも問題を掘り下げました。参加者はそれぞれの知識や実務経験を共有し、行政手続や行政に対する問題提起のあり方や地域住民との合意形成、外国の習慣や宗教上の考え方など複数の観点から意見を交わしました。

勉強会には有志の福岡県行政書士会会員も参加しました

勉強会への有志の会員の参加は本活動への関心や理解、業務への知識を深めることを目的に今年度から始まった取り組みです（参加資格は福岡県行政書士会会員に限ります）。次回の開催時期や参加者の募集については、県会HPの会員専用ページ内で、今後の案内をお待ちください。